



あなたとフクシを結ぶコミュニケーション誌

福祉だより 信州

社会福祉法人長野県社会福祉協議会 ふれあいネット信州 <https://www.nsyakyo.or.jp/>

vol.816
JUL.2024

編集・発行
長野県社会福祉
協議会



CONTENTS

- ちいきとあなたと、ともに暮らす…………… 2P
災害ボランティアと被災地支援の経験から
災害時も平時も助け合える地域づくりを
- 特集1** 長野県 DWAT 能登町活動報告…………… 4P
- 特集2** 災害ボランティア活動…………… 5P
- おらほの縁パワー活動①…………… 7P
- おらほの縁パワー活動②…………… 8P



「福祉だより信州」は
共同募金の配分金で
発行されています。



災害ボランティアと被災地支援の経験から 災害時も平時も助け合える地域づくりを



福祉の現場で活躍するスタッフをご紹介します

上田市社会福祉協議会 上田地区センター
地域福祉推進課 地域福祉係 兼
上田ボランティア地域活動センター

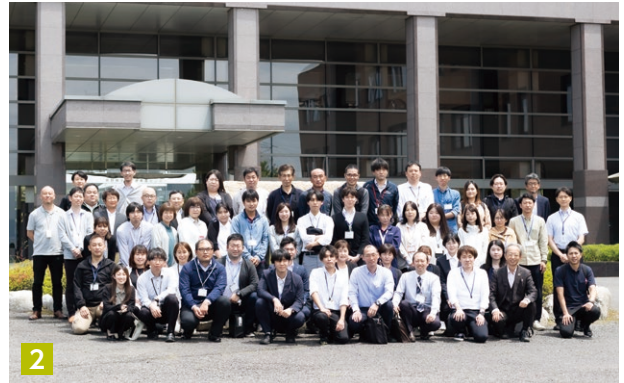
主事 おおた さくや 太田 紗久也さん

学生時代に上田市で令和元年台風第 19 号の災害ボランティア活動に参加し、現在は上田市社協で地域福祉の業務に励む太田紗久也さん。令和 6 年能登半島地震では災害ボランティアセンター運営支援者「DSAT」の一員として活動し、次代を担う若手職員として成長しています。

長野県内社協DSAT(災害ボランティアセンター運営支援者)の一員として



1



2



3



4

1|2 5月に行われた「DSAT 基礎研修」では、能登半島地震での活動報告を発表した太田さん。研修では、ほかにも様々な DSAT の活動が紹介され、参加者はフェーズに応じた支援を学んだ。

3|4 「多少でも被災地の力になり、その経験を上田市の災害時に活かしたい」との思いで DSAT に加わった太田さん。「昔は人に話しかけることが苦手だったが、災害支援を通じて成長した」と話す。

能登半島地震の支援に参加

近年、全国で地震や風水害などが頻発し、被災地の社協が中心となって災害ボランティアセンターを開設することが多くなっています。また、各地の社協から応援職員が派遣され、ボランティアのコーディネートなど幅広い被災地支援が行われています。

長野県では災害発生に備え、専門の研修を受講した県社協や市町村社協の職員による長野県内社協 DSAT を設置。発災時は被災地に赴き、情報収集や被災地社協等との連携、災害ボランティアセンター開設の支援などに取り組んでいます。実際、今年元日に発生した令和 6 年能登半島地震でも DSAT が派遣され、太田さんはその一員として、4月から5月にかけて2回、被災地で支援活動を展開。前任者からの業務の引き継ぎや現地調査、ニーズの把握などを行いました。

「地元社協の職員も被災者なので、気持ちに寄り添いながらも、あくまで応援という立場で意見を聞きつつ、地元主体でボランティア活動が展開されるよう意識しました。また、地元住民との関係づくりを大切に、被災者の状況や体調などを気遣いながらボランティアニーズの把握に努めました」

こうした被災者に寄り添う支援は、実際に太田さんが学生時代、令和元年台風第 19 号で災害ボランティア活動に取り組んだ経験が生きていると話します。

災害ボランティアの経験を原点として

台風第 19 号災害の際、上田市の長野大学で福祉を学んでいた太田さん。当時、アパートから避難所だった同大学体育館に自主避難し、学生ボランティアグループで災害支援に取り組みました。その縁もあり、現在は上田市社協に勤務し、能登半島地震では同市社協の業務で DSAT に加わりました。

「被災地では短期間の滞在ながらも、地元の社協職員と今後の助け合いにつながる関係づくりができたと感じています。ただ、私が被災地に行ったのは発災 3 か月後。発生直後の支援は経験していないので、今後はより多くの研修や活動に参加し、初動対応や災害ボランティアセンターの拠点設置、サテライトづくりなども学びたいです」

通常業務では、地域福祉のほか、上田ボランティア地域活動センターの業務も担い、地元ボランティア団体の活動を支援するなど、地域住民との関係性も大切にしている太田さん。同時に、学生時代から取り組む子ども食堂のボランティアも継続するなど、運営側と参加側、両方に携わることで、日頃から助け合える地域づくりを目指し成長中です。

上田市社会福祉協議会

【住所】上田市中央 3-5-1

【電話番号】0268-27-2025

<https://www.ueda-shakyo.or.jp/>

ホームページ



「避難所での介護、もう限界…」 外部支援で福祉避難所を開設

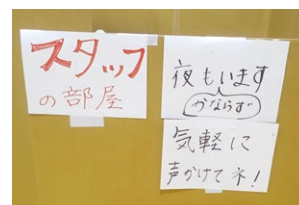
長野県DWAT（災害派遣福祉チーム）



福祉避難所の開設へ

長野県DWATは、能登町からの要請を受けて、同町小木地域交流センターにテントや段ボールベッドを持ち込み、福祉避難所を設置。医療や保健チームと連携して町内に広がる避難所から、福祉避難所で過ごす必要がある要支援者を抽出。1月19日から受入れを開始しました。

水道、トイレ、お風呂が使えない中での介護のため、福祉・介護専門職が様々な工夫をし、また、寒さ対策、感染症対策などには医療チームとも連携して注意を払い、1月下旬から3月中旬まで、認知症傾向のある高齢者など1日平均約15名の避難生活を昼夜に渡って支えました。



石川県の要請を受け、能登町に183人を派遣

長野県DWATは令和元年9月に結成。翌月、台風第19号災害に対応して避難所支援を実施しました。

能登半島地震に際しては、石川県の要請を受けて、1月8日から能登町の避難所支援を開始。1月は、5名体制（移動含めて4泊5日）、2月からは7名～9名体制で派遣を実施。3月30日までの83日間で183人、のべ929人の福祉専門職が支援に入りました。

「避難所での介護負担」が限界に…福祉避難所を設置

能登町は、人口約15,000人、高齢化率50%超の海と山の自然のもと独自の生活文化を育む町です。能登半島地震の発生で、3,000人を超える人が町内60か所を超える避難所に分散避難。各避難所では、高齢者等の介護や見守りを避難者同士で行っていましたが、徐々に負担感が増していきました。

町の指定福祉避難所となっていた5つの高齢者施設等は、ハード・ソフトの両面で被災していたため受入れができず、また、町を離れる広域避難には、「行きたくない」「行けない」「判断がつかない」という高齢者が少なくありませんでした。

トレーラーハウスで滞在拠点を整備

支援者は、トレーラーハウスの設置で安全な滞在拠点を確保。キャンピングカーや移動用車両の提供など、多くの企業や県民の皆様からのご支援をいただき、事故もなく83日間の派遣を遂行することができました。

能登半島地震の被災地、そして能登町の一日も早い復興を祈念しつ

つ、この経験を、地理風土の共通点が多い信州の防災福祉に役立てていきたいと考えています。



長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
電話 026-226-1882（県社協内）

信州から能登へ

あたたかなボランティアの力を

大規模災害ボランティア活動応援助成など



チームうるし（3月中旬、輪島市）



須坂市社協ボラ・バン（4月上旬、能登町）



連合長野、安曇野市社協ボラ・バン（4月中旬、能登町）

災害ボランティア 30団体に助成、のべ1,200人が参加

大規模災害ボランティア活動応援助成は、令和元年台風第19号災害を機に、長野県の補助を受けてスタートした長野県社協による助成制度です。

能登半島地震では、災害ボランティア活動に参加する県内グループ30団体に交通費や宿泊費として、400万円余りを助成しています。（令和6年5月末現在）

赤い羽根「ボラサポ」助成を受けて、多様な団体・企業の活動を促進

長野県社協では、赤い羽根「ボラサポ（長中期）」助成を受けて、多様な技術やノウハウを持つ団体・企業の支援活動を促進しています。

1月下旬、長野県介護福祉士会を主体とする奥能登入浴支援プロジェクトがスタート。2月からは、能登町の農家民宿群「春蘭の里」の営業再開を支援。多くのボランティアが宿泊しています。

また、3月には、災害ボランティアセンターの活動の本格化に備え、能登半島地震復興支援県民本部から10台の軽トラを現地（輪島市、能登町）に届けました。5月からは、県内の（株）竹内製作所の重機を活用したボランティアプロジェクトの活動を調整する等、多様な団体・企業の活動を促進しています。

助成金情報

大規模災害ボランティア活動応援助成

あの時の「恩返し」の意味を込めて、信州から能登へ沢山のボランティアの力を届けませんか。

応援助成は、現在も、随時受付中です。ぜひご活用下さい！



赤い羽根
ボラサポ



奥能登入浴支援プロジェクト
（県介護福祉士など、輪島市ほか、2月）



農家民宿群「春蘭の里」の再開に向け、建築士が同行して修繕について助言



軽トラプロジェクト
（復興支援本部など、輪島市、能登町、1月～）
※写真は3月



竹内製作所の重機を活かした支援活動をコーディネート

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から補償*		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなく、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの代替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11315より抜粋)

令和6年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)		見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		
定員	基本補償(A型)	
1~50名	35,000~61,460円	
51~100名	68,270~97,000円	
100名以降1名~10名増ごと	1,500円	
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11446より抜粋)



the power of our bond

おらほの縁パワー活動①

住民が自分たちの地域のため、つながり、ひろがりながら行うパワーあふれる活動を紹介します。

こどもまつり ～笑う門にはハッピーカムカム～

令和6年4月21日、大桑村スポーツ公園にて八重桜が満開で春爛漫の気候の中、“こどもまつり in 木曾”が初開催され、約250名の方が参加しました。企画したまいさぼ木曾・杉村信子主任相談支援員にインタビューしました。



開催のきっかけを教えてください。

木曾地域は、人口減少が進み、それに伴い、担い手不足も進んでいます。

昨年度、木曾法人会からまいさぼ木曾に相談があり、令和6年3月に「食品ロス研修会」を開催しました。講師の傳田さん（県社協 若者サポートプロジェクト相談員）から、「楽しい場所や子ども食堂」の必要性、子どもたちの未来のために我々は何ができるか？と投げかけがあり、考え始めました。

木曾郡内には6町村ありますが、子ども達との接点が少なく事業化できていない現状があります。その中で、郡内の関係機関が連携して事業を行う必要性を感じ、社協等に協力してもらい開催しました。

どんな関係機関が参加、協力して行われましたか？

上松町社協、大桑村社協、上松町教育委員会、大桑村教育委員会、上松小学校、大桑小学校、大桑中学校、大桑村スポーツ推進員、木曾ねぞめ学園、木曾地区保護司会、大桑村更生保護女性会、木曾警察署、NPO ホットライン信州、まこと工房、まいさぼ木曾、長野県社会福祉協議会が参加・協働して開催されました。

今後の展望を教えてください。

当日は天候にも恵まれ、大勢の関係者のつながりに助けをいただき、子供たちを支える地域の連携の大切さを痛感しました。今回参加した子どもたちが大人になり、大桑村スポーツ公園の桜が咲いた時、「こどもまつり」に参加して楽しかった体験を思い出し、「地域あい」に繋がり、将来持続可能な木曾地域になってほしいと思います。

今回社協、まいさぼ、児童養護施設、関係団体がつながりを深めるきっかけとして始まった「こどもまつり」を今後も継続して開催したいと考えています。

こどもまつり in 木曾 (2024年4月21日)



体験コーナー

モルック、チャンスボール、新聞紙スリッパ、らくがき、竹とんぼ、紙飛行機、折紙、パトカー・白バイ体験会

プレゼントコーナー

ぬいぐるみ 300 個、竹とんぼ100本、空き缶風車100缶、わたあめ、ポップコーン、米、トマト、食品、子ども用タオル200枚

……参加した子どもたちの声……

白バイやパトカー
カッコイイ！
初めて乗った。
おまわりさんと話
したよ

わたあめ並んで
やっもらえた、
おいしい!!

モルック、
チャンスボール
楽しいし、
おもしろい!

竹とんぼ
難しいけど
飛ぶのが
おもしろい!

空き缶風車って
すごい回るんだ



おらほの縁パワー活動②

住民が自分たちの地域のため、つながり、ひろがりながら行うパワーあふれる活動を紹介します。

地域を支える民生委員・児童委員

「民生委員・児童委員」は住民が安全に安心して生活することができる地域をつくるボランティアで、住民の困りごとや心配ごとをきいて、助けてくれる人や場所を紹介する「つなぎ役」として全国各地で活躍されています。

毎年5月12日は「民生委員・児童委員の日」であり、そこから1週間は「活動強化週間」として全国一斉に様々なPR活動やイベント等を行っています。今回は県内でも1年を通して特徴的な活動をされている、岡谷市民生児童委員協議会の北村隆雄会長と鬼窪保明副会長にお話を伺いました。



北村隆雄会長

岡谷市小口区では地区社協と協働して、5月と11月に区内の75歳以上の独居高齢者や80歳以上の高齢者世帯に対して、配食弁当をお届けする取組をされており、その際に民生委員の活動のご紹介をしています。取組の際は、地区社協

の役員と一緒に訪問しており、それぞれの活動をご案内することで、お互いの活動を知り、役割分担と協働を常に心掛けています。そうして顔をつなぎながら、地区社協が主催のカラオケや世代間交流をする「交楽の会」、敬老会などを紹介し、地域とのつながりを作っています。

また、これまでの学校行事がコロナ禍で中止や縮小され、子ども達の様子が見えなくなりました。そのため、主任児童委員を主体として「文化伝承の会」を開催し、焼き芋会をやりながら、待ち時間で区の歴史を紹介したり、紙芝居を読んだり、子ども達が地区の大人と関わる機会を作っています。



鬼窪保明副会長

岡谷区でも同様に配食の取組をしていますが、対象が75歳以上の高齢者だったり、年3回配食する区があるなど、区によってやり方を変えているのも岡谷市の特徴です。また、高齢者世帯を訪問する際には、独自の「民生児童委員訪問だより」を毎月作成し、地域のイベント情報や市内の花の写真を掲載し、話のネタにしています。中には毎月ファイリングをして、心待ちにしてくれている方もおり、編集作業にも力が入ります。さらに、民生委員だけが分かる在宅中の合図を決めてあり、その合図がある時は自宅を訪問するよう決めておくことで、日頃から気にかけて見守りをしています。

特色の一つとして岡谷区公会所は地区役員が交代で常駐することで児童館のようになっており、子どもを持つ親御さんに喜ばれています。そこでは育成会を始め様々な団体が活動し、毎日コーヒーを飲みに行きながら情報収集や積極的にコミュニケーションをとっています。



地区社協と協働して取り組んでいます



だよりを持参して話が弾みます

地域の様々な団体と一緒に関わる機会を積極的に作っていらっしゃる事が良く分かりました。また、日頃の訪問活動でも情報を上手に活用して居場所につないだり、気にかけてくれる関係づくりがとても素敵だと思います。これからも地域の相談役として活躍されることを期待しています。



『無題』

油性マーカー

作者：成沢 茂見 (64才・上田市在住)

何が描かれているんだろうか？
彼が通う事業所には何冊かの有名画家の画集があり、スタッフさんがピカソの画集を見せて、この中から描いてみる？と提案したそう。ピカソのキュビズムといわれる場面を分解して新たに組みなおしたような絵である。成沢さんはこれをどのように描くのだろうか？と興味津々で見守っていると、そこには原作とは全く違う絵が現れた。いろんな形や色が組み合わせられた画面の中に人がいる。成沢さんはそれをどんな思

いで描いたのか？ニコニコするばかりで答えてはくれない。成沢さんは線を引いたり色を塗りながら、次第に自分の夢の中のような世界に没入していくのかな？子供のころから色を塗ったり絵を描くことが大好きだったようだ。

以前は事業所で作業活動にも取り組んでいたが、年齢も考えられて現在は好きなだけ絵を描く時間が保障されている。

(ながのアートミーティング アートサポーター 関 孝之 取材)



Webサイトもご覧ください！

ご感想・お問合せ・掲載希望等は
下記へお寄せください

長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244/FAX 026-228-0130
E-mail info@nsyakyo.or.jp

長野県
社会福祉協議会

福祉・
介護べんり帖

長野県福祉研修共同サイト
きやりあねっと

信州福祉・
介護のひろば